

なにが あらわれて きたのかな



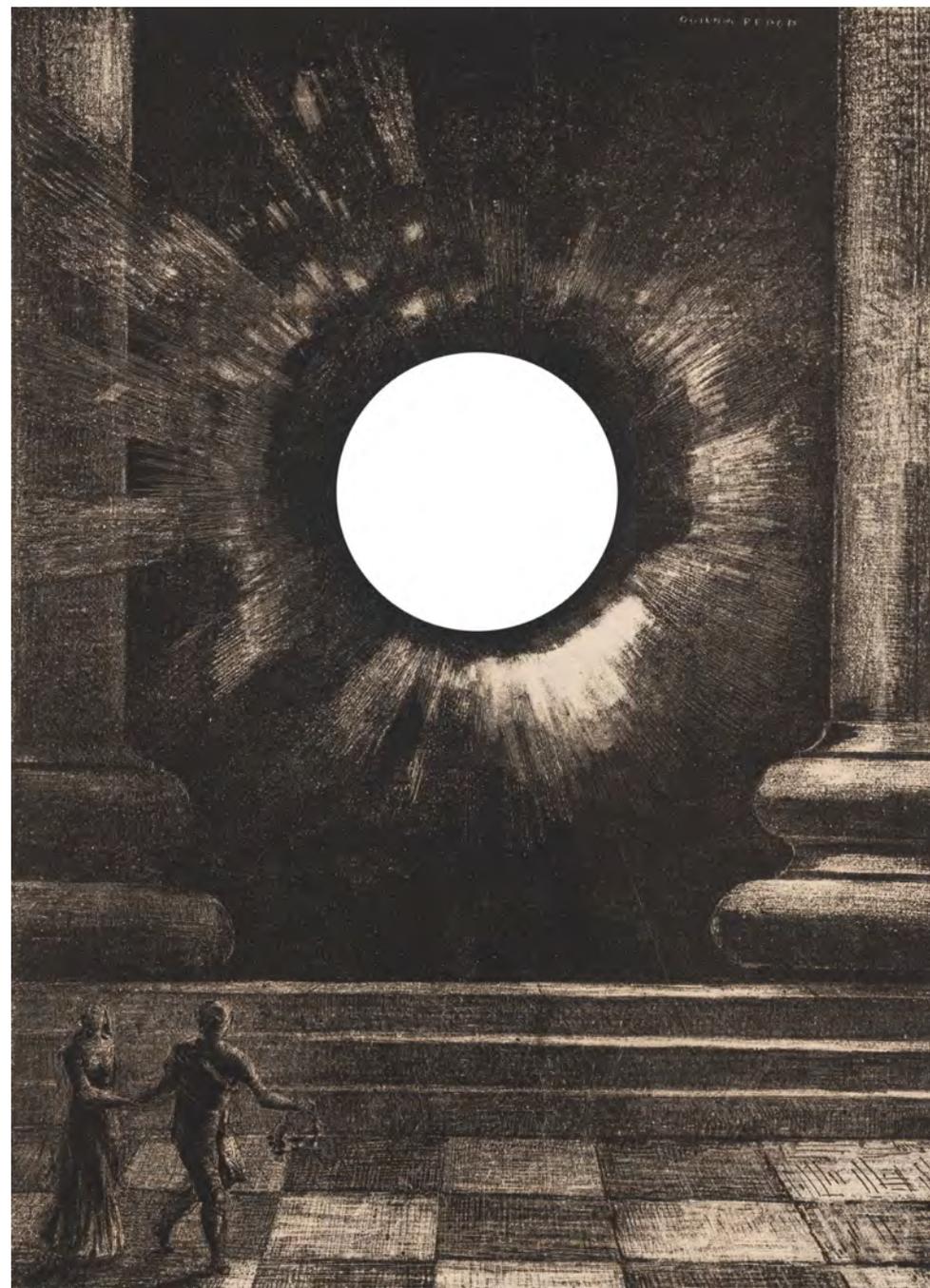
オディロン・ルドン (1840~1916 年)
《石版画集『夢のなかで』より
VIII. 幻視》1879 年制作

フランスの画家オディロン・ルドンによる、リトグラフという版画の作品です。

古代の神殿を思わせる建物の中に、突如巨大な眼球が出現した様子です。

さてみなさんならどんなものをどのように出現させたいですか？

モノクロの作品ですが、いろいろな色を使い、想像力をふくらませて、この絵を自分の世界になるように作りあげてみてください。完成した作品には好きなタイトルをつけてみましょう。



なにが あらわれて きたの
かな？

どんなものが どのように あら
われてくるのかを かんがえ、
いろいろないろを つかったり、
いろいろなものを つけくわえたりして じぶんなりの えにしあげてみましょう。

タイトル

なまえ

(さい)